

## まさかの事態に資産を守る「預金保険制度」

ファイナンシャルプランナー 横山 佳代子

銀行が破たんし、預金が一部かえってこなくなってしまう…というニュースが世間を騒がせたのは記憶に新しいところですが、ペイオフという言葉で漠然と知ってはいても、万が一の時、どうしてお金を返してもらえるのか、その仕組みについてきちんと理解していますか？今回は、私たち預金者のお金を守る制度、「預金保険制度」についてお話しします。

### 「預金保険制度」は、銀行が入る保険

私たちには、病気やけがに備えている色々な「保険」がありますね。保険に入ると、保険料を定期的に支払い、万が一のことが起こった場合には、その損害をカバーするだけのお金を受け取ることができます。銀行も同じで、預金者から預かっている大事なお金が、万が一経営破たんして返せなくなってしまうは大変ですので、そのリスクをカバーするために「預金保険制度」に加入するのです。

私たちが金融機関に預金口座を作ってお金を預けると、自動的にその預金には「保険」がかかります。わざわざ保険加入の手続きをしたり、私たちが保険料を毎月支払ったり…ということをする必要はありません。保険料は、私たち預金者ではなく、金融機関が支払っています（後述）。

### 制度の仕組み

制度の主体となるのが【預金保険機構】であり、国内の金融機関、政府、日本銀行がお金を出し合い、資金をプールしています。保障の対象となる金融機関に万が一の事態が起こると、預金保険機構の資金を使って預金者を保護し、破たん時の様々な処理を行う仕組みです。

保護される預金などの額は1金融機関ごとに合算して、「1預金者当たり元本が1000万円までと、その利息等」と決まっています。また、制度適用の対象となる金融機関は日本国内に本店のある銀行など以下のものに限られ、外国銀行の在日支店や、政府系金融機関、日本にある銀行の海外支店などは対象外です。

### 対象となる金融機関

日本国内に本店のある銀行	信金中央金庫
信用金庫	全国信用協同組合連合会
信用組合	労働金庫連合会
労働金庫	

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

## 保護の範囲

対象となるもの (例)	対象とならないもの (例)
預貯金	外貨預金
定期積金	譲渡性預金
元本補てん契約のある金銭信託	金融債 (募集債及び保護預り契約が終了したもの)
金融債※ (保護預かり専用商品)	

※ 金融債は預金ではないものの、個人向けで、満期 (償還) まで他の人の手に渡ることがなく、誰が保有しているかハッキリしているもの (保護預かり専用商品) については、預金との類似性が高いので、預金保険制度の対象金融商品としています。

参考 URL 預金保険機構 : <http://www.dic.go.jp/index.html>

金融広報中央委員会 知るぽると : <http://www.shiruporuto.jp/finance/hogo/kinho/kinho401.html>

## 保険料は銀行にとってのコスト

預金保険制度の原資となるのが金融機関が納付する保険料です。対象金融機関が、前年度の預金量等に応じて毎年預金保険機構に納付していますが、平成 22 年度の預金保険料率は 0.084% となっています (※)。銀行にとって、顧客から預金という形でお金を集めると、預金保険制度に収める保険料というコストが必然的にかかるようになります。

※別段預金などの「決済用預金」と普通預金などの「一般預金等」を各々加重平均した数値。

銀行は、預金という形で私たちからお金を集め、資金を必要とするところへお金を貸しています。貸す時の金利と、借りる時の金利の差が銀行の利益になるのですが、日本は今ご存知の通り超低金利ですので、高い金利ではでお金を貸し出せない状況です。

お金を貸してもほとんどもうからない中で、お金を集める時は預金保険制度への保険料や預金者への利息支払いといったコストの負担がある。これでは銀行は利益が出ません。預金保険料率は決められているものですから、コスト削減のためには当然、私たちの利息を低く抑えなくてはならない。

自分は預金保険制度に入らなくてもいい。その分利息を上乗せしてくれ！と言いたい気分ですが、強制加入ですからそういうわけにもいきません。私たちの預金の利息がこんなにも低い要因の一つに、大切なお金を守るための預金保険制度も関係していたとは、ちょっと意外ですね。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.